

# 美浜町「ちよっどいい田舎」



祖父母の古民家を再生した自宅で語る山本秀一さん 12月16日、美浜町野間

古民家拠点に町の魅力発信

## 山本秀一さん

良いもの生かす

「古民家を生かし、美浜町の魅力を発信する人がいます。山本秀一さん（38）が仲間とともに開いた「野間古民家ウォーク」には3

回目の今年秋、町内外から約300人が訪れました。

この企画は、「古民家に限らず、道具も文化も古くても良いものは残し、生かし、受け継いでいける社会をめざす」ものです。

美浜町の人口は、2005年をピークに減少すると推計されています。山本さんは、「古民家ウォークをきっかけに、若い世代が美浜に来てくれたらいい」と話します。

美浜町の魅力について、

「一言でいえば『ちよっどいい田舎』ですね。すごく

山奥で不便という訳でもなく、名古屋にも1時間あればいける。海や山、自然も身近にある」

同町から名古屋まで車で40分、電車なら50分です。山本さんは「名古屋の通勤

圏です。休日は、遠くへ出かけなくても自然の中でリフレッシュできる。買い物にも困らない。暮らしていくにはちよっどいい」と魅力をアピールします。

### Uターン

山本さんは3年半前、名古屋から故郷の美浜町野間に移住しました。結婚し息子が生まれて新居を探している時です。



夏は海水浴場に＝12月16日、美浜町野間海岸

山本さんが小学生くらいまで両親と弟、妹、そして祖父母の7人で暮らしていた築90年の家を見て、「その使い込まれた床や柱に魅力を感じた」と話します。

「私がこの家を改修して、Uターン（帰郷）すると言い出したとき、周囲は『更地にして新築したほうがいい』と反対したんです。こんな素晴らしい家を壊すなんてもったいない」

伊勢湾沿いの野間海岸まで徒歩3分。休日は、子どもと自然の中で遊びます。

「自分も、子どもの時、夏は毎日海でした。美浜は子育てに最高の環境ですよ」

以前からアウトドアが好きな山本さん。「まきストーブがあると、家の中で毎日キャンプをしているように楽しい」と、顔をほころばせました。（錦見友徳）



自宅できつろぐ山本さん家族（山本秀一さん提供）